

菓子工房 YAMAO

お菓子職人の山尾さんが作り出す「YAMAO」の世界は、夢と優しさがあふれています。生産者の顔が見える素材や、地場の物などの厳選された材料で作られたお菓子は、どれも見ているだけで笑顔になってきます。ただ、どれを選んでいいのかわからない、全部で食べたい、葛藤が湧いてきますが…(笑)しかも、山尾さんはお菓子職人だけでなく、「YAMAO」を育ててくれた地域の方々への感謝の想いと、子供たちにお菓子を届けて「夢」を伝えたいと、地元でいろいろな手作りのイベントを実施されており、その熱い想いは地域の方々に着実に伝わり、昨年のハロウィンのイベントには280組もの親子が参加されたそうです!

『「えっ!」と驚くようなサプライズがいつも待っているようなお店づくりと、「ナンバーワンよりオンリーワンであり続けること」にこだわっていきたい』と、話される山尾さんのまっすぐな眼差しに向こうには、誰もが笑顔になれるディズニースタイルの夢と希望の世界がしっかりと見えていたように感じました。さあ、今日はどんな「ウキウキ」「ドキドキ」が待っているのかな? 帰りに寄ってみよう!



▲店内



▲こだわりの一品
田中ファームのプリン

菓子工房YAMAO

- 住所 〒584-0071 富田林市藤沢台6-3-1
- 電話 0721-28-7376 ●FAX 0721-28-7475
- 営業時間 9:00~19:00 ●定休日 水曜日
- http://www.cake.ecnet.jp/



山尾さん(左から二番目)とスタッフの皆さん

みはらトピックス

このコーナーは、美原区にお住まいの方及び美原区内にお勤めの方々を対象に、実施されているイベントなどをご案内するものです。

美原区役所からの広報

堺市美原区では、地域の住民・団体との協働による事業を通じて、地域コミュニティの活性化と自主的な魅力あるまちづくり意識の高揚を図るため、「みはら芸術展」や「みはら区民まつり」などを実施しています。

【みはら芸術展】

区域住民の芸術・文化活動を発表する場を提供するとともに、その活動を支援し、地域の芸術・文化の振興を図り、心豊かな市民生活を伸長するもので、昨年は絵画、書、陶芸、写真などの作品が136点展示され、会期中には約1,000人が来場されました。13回目となる今年も堺市立美原中央公民館を会場に11月13日から16日までの4日間開催します。



【みはら区民まつり】

美原区の各区区自治連合会が主体となって企画・運営し、区民の皆さんが積極的に参加することで相互交流と親睦を深めることを主な目的としており、昨年は約6,900人も来場者で賑わいました。まつりの内容は、ステージでのイベント、模擬店、ゲームコーナーなどで、まつりの一日を楽しむというものです。今年も堺市立美原中学校で11月24日午前10時から午後4時頃まで開催します。



※なお、どちらのイベントも入場料は無料です。

【みはら芸術展実行委員会事務局】

【みはら区民まつり実行委員会事務局】

- 大阪府堺市美原区黒山167番1
- 美原区役所 自治推進課内
- 電話 072-361-1881(代表) ※詳しくは、お問い合わせください。

SPACE DESIGNER

空間を創造する者たち

高松伸

~その造形が訴えるもの~

島根県立産業交流会館

くにびきメッセ

http://www.kunibikimesse.jp/



生まれが島根県ということで、島根県には高松氏の設計した建物が数多くあります。その中から今回は島根県のコンベンション施設の中核に位置づけられている「くにびきメッセ」を紹介します。

宍道湖から中海を経て三保湾にそそぐ剣先川にかかるくにびき大橋の北隣にの川沿いにあります。中央の吹き抜けの空間が目を引き南側の建物には事務所と会議室が、北側には見本市会場と多目的ホールを備えています。なんとといっても中央のガラス張りの吹き抜け部分が印象的で、「なに?あれ…」と言いたくなります。中には円錐形の物体が大小3つあり、壁から突き出した球体、建物を貫いている円筒形の物体、そして左右をつなぐガラスのチューブ… いったい何なのか?

球体と円筒形の物体は実は会議室だそうです。円錐形のものは2つがオブジェとしての照明、1つが休憩室です。そしてガラスのチューブは東西の5階と6階を結ぶ渡り廊下なのです。この渡り廊下を歩くと空中を歩いているような錯覚を覚えますよ。この吹き抜けの空間は「交流サロン」ということになっています。さて、この空間をあなたは無駄と思いませんか?それとも…?

〒690-0826 島根県松江市学園南1丁目2番1号
TEL: 0852-24-1111 FAX: 0852-22-9219



▲「交流サロン」の内部です。どう見ても異質な空間です。手前の円錐がライトを兼ねるオブジェ。真ん中の円錐が休憩室。丸いのが会議室でその上をガラスのチューブの渡り廊下。



◀川沿の道路から見た「交流サロン」です。写真ではわかりにくいですが5階分くらいの全面吹き抜け総ガラス張りではないですね。またその中に、幾何学的な円や三角の物体が異様な雰囲気を醸しています。



▲「交流サロン」の下から天井を見上げたところ。下から見ると渡り廊下も下半分しか見えません。



▲円筒形の出っ張った物体も会議室らしいです。どんな内部になっているんでしょうね…?



▲5階から渡り廊下の中を見た写真です。人1人が通れるくらいの大きさです。写真の私で大きさがわかると思いますが…



◀内部はととろとろに楕円などの幾何学形状がデザインされていますが、外観ほどの印象はありません。普通です…



◀外壁のデザインです。ここでも幾何学的なデザインが見られます。



◀渡り廊下から見た休憩室の上部です。ここも夜には光を放つライトになると思います。